

感染性胃腸炎に気を付けましょう！

感染性胃腸炎とは？

感染性胃腸炎は、**病原性大腸菌（O-157 など）** や **ノロウイルス** などの菌やウイルスなどに感染することによって引き起こされる胃腸の感染症です。主な症状は、**腹痛、下痢、嘔吐、発熱** で症状の程度には個人差があります。年齢を問わずあらゆる人がかかる可能性があります。



どんな対策をするの？

✓調理・配膳前や食事前、トイレの後は必ず

石けんで手を洗いましょう

【注意】アルコール消毒が効かないウイルスがあるので手洗いで手をきれいにしましょう。

✓調理器具はこまめに洗いましょう

生肉に触れた箸やトングで加熱された食品に触れないよう調理器具を区別することも有効です。

✓食品は十分に加熱して食べましょう

ノロウイルスは80～90℃で90秒以上、O157は75℃で1分以上の加熱で死滅します。

夏場はBBQなどの機会が増えますので肉・貝などはしっかり火を通しましょう



どうして感染するの？

汚染された食品や手指を介して口から体の中に病原体が入って感染します。



感染管理認定看護師からのアドバイス

木村病院
感染管理認定看護師 林幾代氏

感染対策の基本の手指衛生

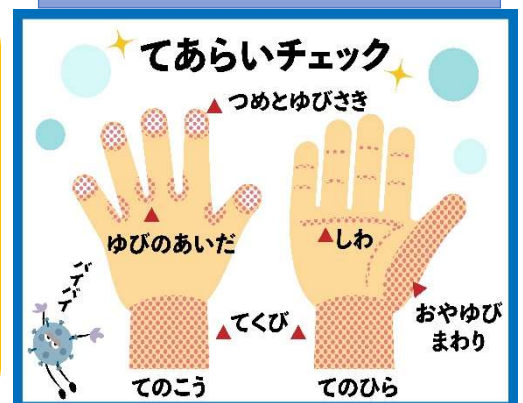
30 秒以上かけて洗いましょう



手洗いのタイミングとは？

調理の前
生肉、魚、卵を触った後
盛り付けの前
食事の前
トイレやおむつ交換の後
外出から帰った後
ゴミ処理をした後
動物を触った後

洗い残しが多い部分



もっと詳しく知りたい方は、次の厚生労働省のHPをご覧ください。

感染性胃腸炎



O157Q&A

